

3学年だより<第3号>

令和3年6月2日発行

(共通テストまで227日、国公立二次試験まで268日)

本気出して、第一志望合格を目指そう！

コロナウイルス感染蔓延が危ぶまれる中、今年度の葛城祭は何とか開催できました。部活発表、委員会活動、クラス展と、試行錯誤を繰り返した準備段階から当日の精一杯のおもてなし、さらに片づけの一苦労を通して、皆さんはこの一大イベントをやり切りました。この経験を通して、様々なことを学び確実に成長したと思います。

葛城祭から気持ちを切り替えて、いよいよ大学入試に真正面から向かっていくことになります。「掛西生として将来様々な分野で人の役に立つべく、ぜひ入学して学びたい大学」を目指し、切磋琢磨していきましょう。まだまだ日数があると思っている人は要注意！これから目指す中期ゴールは「10,11月の記述・マーク模試で成果を出す」ことです。西高生の伝統として、ここで成果が出ることが第一志望大学合格へと導いてくれるようです。成果が出るまでには3か月はかかるとよく言われますから、計画をしっかりと立てて（立ててある人は見直して）、夏休みまでには基礎をしっかりと固め、どんな切り口で問われても答えられる力をつけていきましょう。



6月, 7月の予定

	進路行事	学校行事	CT	LHR
6月	5(土) 進研マーク模試 進学講座 2(水) 9(水) 16(水) 23(水) 土曜講座 12(土) 19(土) 26(土)	4(金) 専門委員会 10(木) 学年PTA(保護者) 11(金) 表彰・壮行会	9(水) 報告書作成⑤ 10(木) 報告書発表① 16(水) 報告書発表② 24(木) 30(水) 小論文の書き方	2(水) 進路集会 3(木) 防災訓練 17(木) 各HR 23(水) 薬学講座
7月	26(月)~29(木) 夏季講座 31(土) 全統共通テスト模試 (公開会場)	5(月)~8(木) 期末テスト 9(土), 12(月) テスト返却 16(金) 40分×6授業 19(月) 40分×5授業 20(火) 40分×4授業	9(金) 14(水) 小論文の書き方 20(火) CT振り返り 21(水) 終業式 30(金) 中学生1日体験入学	1(木) 期末試験に向けて 15(木) 学年集会 21(水) 1学期振り返り

夏季講座・2学期進学講座

1学期の進学講座はすでに始まりましたが、夏休み中に全教科、2学期以降にも平日は理社、休日は全教科の講座が計画されています。長期学習計画の中に組み入れていこう。

	講座名	目的	日程	実施時間・条件	実施教科	対象者
夏休み	夏季講座	長期休業を規則正しく過ごし、自学自習のペースをつくる(前期4回、後期5回)	前期 7月26日(月)~29日(木) 後期 8月2日(月)~6日(金)	1講座65分(予定)(時間は全学年で調整) 自分に必要な講座を選択して受講	英数国(前期) 理地公(主に後期)	要項で案内
2学期	進学講座	大学入学共通テストに向けて理科・地公の力を養成する(全10回)	地公は水曜日 理科は木曜日 (9月~11月)	1講座70分 放課後実施	理科 地公	要項で案内
	土曜講座	入試に対応する力をつける(全5回)	9月4日(土) 18日(土) 10月2日(土) 16日(土) 11月6日(土)	1講座65分 自分に必要な講座を選択して受講	全教科	要項で案内

放課後・休日の自習室について

3年の教室	平日放課後 管理当番の先生の放送まで
図書室	平日朝7:15~8:00、放課後16:40まで
百周年記念館	平日16:00~19:00、土曜13:00~17:00

集中して勉強する雰囲気づくりを。スマホはカバンの中へ。飲食・雑談はやめましょう。どの場所もゴミは自分で持ち帰る常識を忘れずに。



進路のしおりを読んで、受験への心構えを再確認しよう！

巻頭言、「鍛えよう若き日を」、1. 進路計画(第3学年)

進路実現を通して自分を成長させるための目標、心構えをしっかりと確認しよう。

「受験は体力・精神力・得点力」— 進路実現にあたっては、高い志望を掲げ初志貫徹する意気込みで挑むことが肝要であり、**実際それを有言実行できた人が第一志望にしっかりと合格するものです。**

2. 2021(令和3)年度入試総括と2022(令和4)年度入試展望 3. 共通テスト・センター試験結果 (p.5~7)

昨年度の3年生の受験は、「5-7 受験率過去5年間で最高」「広範囲にわたる国公立大合格者」「志望校を変更せず後期まで粘り勝ち」といった特徴がみられました。先輩たちの意志の強さと着実な努力の積み重ねをぜひ見習いたいものです。

大学入試の名称と日程 7月下旬までに各大学から選抜要項が発表されます。

一般選抜 「思考力」と並んで「主体性」を評価することにも重点が置かれる。主体性の評価方法としては、**調査書を活用する大学が多く、特に志願者が記載する資料等とセットにしている大学が目立つ。**

総合型選抜 出願は9月(共通テスト免除)、または10月(共通テストを課す)。合格発表は評価方法については、**調査書や共通テストを活用する大学が増加傾向。また、エントリーシートや活動報告書などの提出書類が総じて多い。**

学校推薦型選抜 出願は11月1日以降。評価方法としては**書類審査+小論文+面接のパターンが多いが、国公立大では共通テストを課したり、英語外部検定を出願条件や評価対象としたりする大学も多い。**

(『蛭雪時代』2021年4月臨時増刊号(旺文社)より)

このように様々な選抜方法がありますが、「多くの諸君の場合、**一般選抜を優先して考えるのがよい**」というのが掛西の指導方針です。「**総合型選抜**」や「**学校推薦型選抜**」を利用した受験をする人は、その大学で学びたいというゆるぎない意志を持ち続けていて、さらに自分を高められることを裏付ける「**語れる何か**」を持っている人に限定されます(進路課には推薦条件という規定もある)。もちろん、入学後は**一般選抜で入学した学生と同等(かそれ以上)の学力が求められることになることを忘れてはいけません。**

p.6の最後の段落「**最後の最後まで求められるものは基礎力**」ということを忘れずに。応用ばかりに走って肝心の土台作りを怠ることのないように。また、学びを自分ごととしてとらえる姿勢は社会に出ても大切です。新傾向問題への対応能力が今まで以上に求められている中、視野の広い考え方を持つことが必要です。

4. 合格状況一覧(p.8~14) 5. 理数科の大学合格状況(p.15,16)

「先輩が進学した大学=自分が進学する可能性が高い大学」ととらえて見てみましょう。私立大の合格者は、私大の入学定員の厳格化の影響もあってか、安全志向が高くなっているように見えますが、昨年度の3年生は難関私大の合格者も過去5年間で多く出ています。

6. 進路選択の流れ(p.16~20) 7. 学部学科系統図(p.22,23)

p.20「**志望校決定のポイント**」を再読しておきましょう。特にp.21 **保護者との情報の共有を常に忘れないようにすることが大切です。**志望先が決まっている人も、自分の志望する大学のことがどれだけ説明できるでしょうか。大学調べは入学後のアンマッチを防ぐためにもしっかり行い、夏の3者面談で担任の先生に説得力のある志望理由説明ができるようにしておこう。

8. 令和4年度入試スケジュール(p.24)

国公立大2次試験の出願は、前中後期同時であることに特に注意しましょう。

9. 知っておきたい大学事情(p.24~38) 10. 大学入試の経済学(p.40~47)「志望」実現に向けた取り組み(p.48~51)

以前も学年集会で進路のしおりについて説明した時にも触れています。再度目を通し、p.21,22の学部学科系統図に立ち戻ってみるとよいでしょう。保護者の方にもぜひ読んでほしい内容です。

受験から入試までにかかる費用については、ぜひ保護者の方と話をしながら確認しよう。受験料等値上げする大学や理科の受験科目が変更となっているなど、条件が変わっている大学もあるので、詳しくは大学HPで確認しよう。

p.50「2年生後半から3年生はこのスタイルも」以降、【国立大学志望者】に対する実現に向けた準備について、昨年目を通して計画を進めて来たとは思いますが、再確認しておこう。

11. 合格体験記(p.55~80)

先輩たちが直接伝える「生の声」は、教員があれこれ言うよりも説得力があるのでは? 大きく分けて「勉強への取り組みは基礎が大事」「学習習慣や気持ちの持ち方をしっかりとる」「(失敗談も含め)受験対策や志望校決定に向けてのアドバイス」について書いてくれています。

付録 地方の国立大の魅力(p.83~)

地方国公立大について学問分野別に紹介されている「学問系統編」、地方国公立大のメリットについて確認できる「概要編」をはじめ、生活面から金銭面まで詳細にわたって説明されています。**地方といえども日本国内6~7時間あればどこでも行ける(朝静岡を出れば昼には着く)し、静岡空港から直通的な県があれば、陸路より早く安く行ける場合もあります。決して遠いというわけではありません。**地方国公立で学んでいる学生の様子をぜひ感じとってください。自分に合っていると思う人も多いのでは?